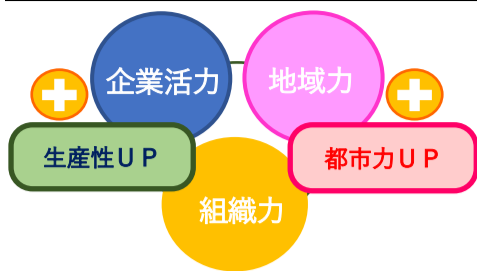


「第4期中期ビジョン」

2019 1年目	2020 2年目	2021 3年目
-------------	-------------	-------------



仙台商工会議所 2019 年度の取り組み <<事業計画 概要版>>

地域経済団体としての総合力を発揮し、震災復興の先を見据えた「地方創生」の実現に向けて取り組みます

人口減少や少子高齢化、ICT 技術の進展など、地域企業をめぐる経営環境がかつてないスピードで変化するなか、力強い経済活動に支えられた、豊かさを実感できる仙台の実現を目指して「第4期中期ビジョン・行動計画（2019～21年度）」を策定しました。本年度は、従来からの3本の柱（「企業活力」「地域力」「組織力」）に加えて、ビジョンで掲げる「都市力」「生産性」向上の視点を強く意識しながら、企業や地域が抱える各種の課題解決を図るべく、地域企業への伴走型支援や多様な機能集積による都市の競争力強化に向けて関係機関と連携を深めながら取り組みます。

I. 企業活力 + 生産性向上

★印・・・新規事業・拡充事業

1. 地元中小企業のビジネスチャンス創出

- ★①地域中小企業の営業力強化を通じた自立を促すための「首都圏版・伊達な商談会」や、消費者の声を商品開発の現場にダイレクトに生かすテスト販売等の取り組みを新たに実施するとともに、5回目となる「東北復興水産加工品展示商談会」開催等を通じて、東北産品の域内外での消費拡大を図ります。
- ②地域企業におけるアジアを中心とした海外への販路開拓やビジネス進出に対する潜在的な需要掘り起こしに努め、関係者と連携しながら海外取引拡大を目指すとともに、仙台空港や仙台港の物流拠点としての利活用促進を図ります。
- ③9,000 会員のスケールメリットを生かした、異業種・多彩なテーマによる「会員交流会」を年間通じて開催し、新たな気づきやビジネスのヒントが得られる場づくりに努め、企業の人脈形成を強力にサポートします。



2. 伴走型支援による中小企業の長所を生かした経営力強化

- ①窓口相談や巡回訪問を通じて、企業の「稼ぐ力」を高める経営のロードマップ「経営計画づくり」に関して、経営状況分析から、事業計画策定、資金調達、その実行までの一連の流れを、企業に寄り添う形で的確に支援し、企業の経営力強化を促します。
- ②「小規模事業者持続化補助金」や「ものづくり補助金」、「消費税軽減税率対策補助金」をはじめとした各種補助金の情報を地域中小企業にタイムリーに届けるとともに、万全の体制で補助金申請のバックアップを行います。
- ③創業予定者のビジネスプランの策定・ブラッシュアップや資金調達支援、創業後の事業継続に向けたフォローアップに努めます。

3. 消費税率引き上げと軽減税率導入（10月）への的確な対応支援

- ★①専門家による窓口相談やセミナー開催、商工会議所内への関連機器の実体験コーナーの設置等を通じて、企業側に必要な会計・決済ツール（クラウド会計、モバイルPOSレジ、キャッシュレス決済）や対応ノウハウの普及促進を図るとともに、政府が進める消費者還元事業への対応を呼びかけます。

4. 事業承継センターによる大企業承継時代への円滑な対応

- ①親族や従業員への承継に向けた「事業承継計画」策定や、後継者不在時の「M&A」支援を着実に進めます。
- ★②経営者と後継者を対象とした専門講座「事業承継塾」開講や商店街エリアでのセミナー実施、事業承継を検討する中小企業の「企業価値診断事業」実施を通じて、事業承継への早期取り組みを促します。

5. 企業が望む人材の確保・定着、中核人材の育成、働き方改革への対応支援

- ①「地元企業と学校の就職情報交換会」や青年部「学生と若手経営者による交流会」「経営者とともに歩く地元企業ツアー」開催等を通じた学生の地元定着やUIターン促進を図ります。
- ★②新卒だけでなく、企業の即戦力としての中途採用、新たな外国人材採用に向けたノウハウ取得のための情報提供に努めます。
- ★③「働き方改革関連法」施行に伴い、社会保険労務士による相談窓口を拡充し、企業の働きやすい職場環境整備をサポートします。
- ★④経営者や企業の中核人材育成のための各種セミナーを年間通じて開催。時間と場所を問わずにウェブ上で学べるオンデマンドセミナーサービスを会員事業所向けに新たに提供するほか、パソコン教室運営や検定試験の実施を通じて、総合的なビジネススキルの向上を支援します。



6. AI・ビッグデータ・電子決済など地域企業へのICT（情報通信技術）導入支援

- ★①IT コーディネーター等による窓口相談・セミナー開催等を通じて、ICT 活用による地域中小企業の省力化・効率化による生産性向上を支援します。

7. 中小企業も取り込んだ産学官連携・ものづくり力強化

- ★①環境保全、高齢化、豊かな食の実現など、幅広い分野で活用が期待される「次世代型放射光施設」の利活用促進に努め、「富県宮城」実現を後押しします。
- ★②災害発生時への備えとして、行政と連携しながら団体や企業におけるBCP（事業継続計画）策定に向けた取り組みを進めます。

II. 地域力 + 都市力向上

1. 定禅寺通の活性化など、各街づくり機関との連携による面的回遊性向上と駅前など都市機能の拡充、民間投資（PPP・PFI）の呼び込み

- ★①市庁舎建て替え、定禅寺通活性化、音楽ホール整備、県民会館建て替えなど仙台の都心再構築の機会を捉えながら、「仙台活性化まちづくり 2030 検討委員会」で多様な機能集積型まちづくりや面的回遊性向上の必要性、老朽建築物の更新に必要な行政によるインセンティブ付与・規制緩和、学都まちづくりの推進等を強力に提言するなど、将来を見据えた仙台の都市力向上に向けて積極的に取り組みます。

2. ツーウェイでの交流人口拡大・MICE を含む地元受入態勢の拡充による国際観光都市への躍進

- ★①「仙台市交流人口ビジネス活性化戦略」と連動した体験型コンテンツの充実をはじめ、域内での滞在時間や消費拡大などに資する国内外客の受入態勢整備に向けた取り組みを、観光交流産業に携わるオール仙台の視点で推し進め、地域経済の競争力を強化します。
- ②宮城県・仙台市・仙台国際空港をはじめとした関係機関との連携によって、新規路線の誘致・既存路線の維持拡大やイン・アウト双方向での交流拡大につながるため、教育旅行の拡大やパスポート取得率向上に努めます。
- ③祭り・イベント・文化・スポーツ・人物など、仙台の多様な地域資源の磨き上げを通じた懐の深いまちの魅力向上を推進します。
- ④2019 年ラグビーワールドカップや 2020 年東京オリンピック・パラリンピックを契機とした東北への誘客を図るため、「東北絆まつり」をはじめとした東北一体となったプロモーションを行います。



3. 生活を支える商店街の環境変化への対応支援

- ★①中心市街地活性化のための中心部エリアでのキャッシュレス化に向けた実証実験の実施や、仙台初売り・年末お客様感謝祭などのイベントによる賑わい創出に努めます。
- ②「まちゼミ」や「まちバル」など顧客開拓につながる取り組みを支援しながら、商店街同士のネットワーク構築を強化します。

4. 地域経済を支える幹線道路や防災機能など、都市インフラ整備促進

- ①仙台国際空港や仙台国際貿易港、宮城野原地区の広域防災拠点、仙台東道路など、地域経済を支える各種インフラ整備・利活用促進に努めます。

III. 組織力

1. 各種政策提言・要望活動の強化

- ①仙台の都市力向上、税制、各種インフラ整備、震災からの復興とその先の持続的成長に必要な施策など地域の課題解決に向けた提言・要望を実施します。

2. 会員1万件達成を目指し、顧客（会員）満足度向上に努める

- ①全職員での会員訪問活動によるニーズ把握とサービス拡充により事業利用率と満足度向上に努めます。
- ②役員・議員改選にあわせて、会員の付託に応えるための盤石な組織・財政基盤を確立します。

3. 会員事業所への発信力強化、事業利活用の促進

- ①月報やホームページ、メール配信、各種メディアを活用した経営支援メニューや商工会議所活動の発信力強化を図ります。

★②創立130周年（2021年）に向けた記念事業等の準備を行います。

4. 職員の資質・国際感覚向上、ビジネススキルの拡充

- ①職員の海外派遣や職員の公的資格取得を通じた企業・地域支援力強化を図ります。

